



\ 支援を通して、私も日々勉強です /

NPO法人ラボラボ 施設長 野村 亜希子 さん



ラボラボ設立の経緯は？

きっかけは、障がいを持つた方々の保護者の皆さんでした。高等養護学校を卒業した後も、住み慣れた土地で生活したいと、いう思いを実現しようと立ち上がり、作業訓練と就労の場を提供するため設立しました。

野村さんが参加した
きっかけはなんですか？

以前は、名寄で働いていましたが、縁あって施設立ち上げのころから関わらせてもらっています。地域に根ざした形で支援したい気持ちが強くあって、この施設で働くようになりました。現在は施設長という立場上、なかなか一緒に作業することができますが、支援員だったころは利用者さんが行なうリサイクル用品の分別や販売用の工芸品・手芸品づくりを見守りながら、一緒に作業することもありました。

最近は作業以外に、イベントで歌とダンスを発表しています。チームワークの良さを發揮できるようにみんな頑張っています。

活動を通して
やりがいを感じる瞬間は？

利用者さんのちょっととした変化を感じられたときにやりがいを感じますね。一人ひとり個性があるので、同じ内容でも人によっては理解するまでに時間がかかることもあります。

以前、感情を表に出すことがあまり得意ではない利用者さん

がいて、なかなかあいさつができないことがあります。でもある日突然「おはよう」とあいさつしてくれて、嬉しくて思わず「やればきなかつたんです。でもある日一緒に喜んだこともあります。また、自分と違った視点で物事をみている姿を見て私自身も日々勉強になりますよ。

今後の意気込みや目標を
教えてください！

地域おこし協力隊 まちの情報発信部門
愛知県出身 野口暢子

今日も笑顔で
頑張いやあ～よ



先日、不覚にも風邪を引いてしまいました。原因は間違いなく、最強寒波が襲来するなか、バナナで釘を打ったからだと思います(笑)。一度いいから極寒体験を肌で感じたかったんです…。どうか皆さん、笑って許してください!!(汗)。

ラボラボでは現在15名の利用者さんが在籍しており、日々さまざまな作業を分担しています。取材に伺った日は、豆腐づくりで使用する大豆の選別作業を行なっていました。



~地域の魅力発信中！~
赤平市地域おこし協力隊 Facebook

